年間授業計画 新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 教育芸術社 MOUSA 1 ）

教科 芸術 の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

【 知 識 及 び 技 能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現をしたり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛する心情を育むとともに、感性を高め心豊かな生活や社会を創造していく。

科目 音楽Ⅰ の目標： 音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽文化と幅広く関わる素質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	オリエンテーション ―未知なる音楽の世界を求めて― 高校生として音楽を学ぶにあたって、自分にとっての音楽の存在を再認識するとともに様々な音楽に自ら積極的に関わり、音楽を幅広く様々な視点から捉えようとする態度を養う。	・校歌 ・小さな空 ・音楽経験アンケート（自作教材） ・Viva la musica(混声四部)	○				【知識及び技能】 【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 【技】歌唱や楽器演奏などの身体の使い方の技能、拍者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 校歌のテポムの変換を通し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって声のように歌うことについて思いや意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	イメージをもって歌おう 自己のイメージを豊かにしたり、他者の音楽表現に共感したりしながら歌唱表現を創意工夫する手立てを学ぶ。	・Amazing Grace ・楽典	○				【知識及び技能】 【知】「Amazing Grace」の曲想と音楽の歴史や歌詞との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うことについて思いや意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 「Amazing Grace」の曲想と楽曲の歴史や歌詞との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	日本歌曲を歌おう ―言葉とフレーズの関わりに着目して― 日本語の抑揚や間、語感、歌詞としての主とまりが旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心をもち、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。	・むこうむこう ・この道 ・歌声づくりのエクササイズ	○				【知識及び技能】 【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うことについて思いや意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語の抑揚や間、語感、歌詞としての主とまりが旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	ハンドベルを演奏しよう 各自が担当したベルを、仲間と合奏することによる表現活動を通してハンドベルアンサンブルの魅力を感じ取る。	・A Whole New World ・Over the Rainbow		○	○		【知識及び技能】 【知】楽譜音を学び理解し、演奏に必要な楽譜を作学する。 【技】その楽譜を使って、楽曲を仲間と創作して行く。 【思考力、判断力、表現力等】 リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように演奏をつくるかについて思いや意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 自己のイメージをもって演奏をつくることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	歌の旅に出よう Ⅰ ―イタリアの民謡や歌曲― イタリア語の言葉の特性と旋律やリズム、曲の構成などとの関わりに関心をもち、言葉の抑揚や言語のもつ質感を捉えながら表情豊かに歌う。	・イタリア語に挑戦！ ・Caro mio ben ・トスティ歌曲	○				【知識及び技能】 【知】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 イタリア語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	1
	アンサンブルを楽しもう ―テーブル・ミュージック＆ヴォイス・アンサンブル― 他者との調和を意識したり、ヴォイス・アンサンブルの特徴を生かしたりしながら、自分たちのイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。また、体の様々な部位を使って音色を工夫したり、構成を工夫したりしながら表したいイメージをもってテーブル・ミュージックをつくって演奏する。	・Happy birthday to you ・Oh happy day ・Wind from the south ・Lemon	○		○		【知識及び技能】 〔歌唱〕【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 【技】他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 〔創作〕【知】音素材、音を連れた重ねたりしたときの響きの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付ける技能を身に付け、創作で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 〔歌唱〕音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 〔創作〕音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 〔歌唱〕他者との調和を意識したり、ヴォイス・アンサンブルの特徴を生かしたりしながら、自分たちのイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 〔創作〕体の様々な部位を使って音色を工夫したり、構成を工夫したりしながら表したいイメージをもってテーブル・ミュージックをつくって演奏することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	１学期の音楽学習のまとめ １学期の音楽学習のまとめとして歌唱の実技試験を行い、学習内容の定着度を確認する。また、これまでの音楽学習を振り返って自己の課題を確認し、２学期以降の取り組みを考える。	・ハンドベル発表会 ・ボイス・アンサンブル発表会		○	○		【知識及び技能】 【知】音楽１の１学期の学習を通して、表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項について理解している。 【技】音楽１の１学期の学習を通して、技能に関する諸事項を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 １学期に音楽１で学んだ教材の音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 １学期の音楽学習のまとめとしての歌唱の実技試験や１学期の音楽学習を振り返って自己の課題を確認し、２学期以降の取り組みを考えることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	1
2学期	店の音楽に思いをはせよう ―日本の伝統芸能 ―歌舞伎 ―文楽 雅楽の楽器の音色や奏法、楽器の構造、音低の響きに関心をもち、雅楽固有の特徴が日本人の音感覚や美意識、他の文化・歴史と関わりながら育まれてきたことを理解し、そのよさや美しさを自ら味わって聴く。	・自作教材 「歌舞伎入門編」 「文楽入門編」 ・日本音楽史 ・音楽史と史実 ・世界の楽器図鑑	○				【知識及び技能】 【知】音楽の特質と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価しての根拠、音楽表現の高価性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴っている。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	アンサンブルを楽しもう ―キーボードかギターを選択して― キーボードまたはギターのどちらかを選択し、各楽器の奏法を身に付けるとともに技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動の楽しさを味わう。	自作教材 キーボード編曲譜７曲 ギタータブ譜３曲 ・コードネーム	○				【知識及び技能】 【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わり、様々な表現形態による楽器表現の特徴について理解している。 【技】曲にふさわしい奏法、表現の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、器奏で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 キーボードまたはギターのどちらかを選択し、各楽器の奏法を身に付けることや技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をすることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器奏の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	歌の旅に出よう Ⅱ ―ドイツ歌曲の魅力― ドイツ語の言葉の特性や曲にふさわしい発声を意識し、アクセントや音量・母音の扱い、語感の違いなどを生かして自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。	・ドイツ語に挑戦！ ・野ばら（シューベルト） シューベルトの歌曲 ・野ばら（ヴェルナー） ・春への憧れ ・西洋音楽史 ・音楽史と史実 ・作曲家年表	○		○		【知識及び技能】 【知】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価しての根拠、音楽表現の高価性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴き、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ドイツ語の言葉の特性や曲にふさわしい発声を意識し、アクセントや音量・母音の扱い、語感の違いなどを生かして自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	交響曲の魅力を探求しよう ―ベートーヴェン最後の交響曲― ベートーヴェンの交響曲第9番第4楽章を通して、オーケストラの響きや、ソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりする面白さを味わいながら聴く。またシラーの詩と30年後の完成を味わう。	・ベートーヴェン最後の交響曲 ・交響曲第9番から第4楽章 ・ワンポイント！用語解説 ・楽器音域表 ・西洋音楽史 ・音楽史と史実 ・作曲家年表			○		【知識及び技能】 【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価しての根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴っている。 【学びに向かう力、人間性等】 オーケストラの響きや、ソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりする面白さに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○		1
	リズム パーカッション アンサンブル Ⅰ～Ⅳのパートのリズム譜を各自で担当→練習→Tutti 発表し合う。	・Four Beat Performance			○		【知識及び技能】 【知】リズムパターンを学び、その奏法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の演奏力と仲間とのアンサンブルで表現力そして協調性を養う 【学びに向かう力、人間性等】 ミニコンサートを行い、お互いに音楽活動を楽しみながら主体的、協同的に学習活動に取組もうとしている。	○	○	○	4
	混声合唱を美しく響かせよう 混声合唱の豊かな響きを味わいながら他者との調和を意識して歌う。また、曲想が歌詞の内容や作曲者の思い、音楽の構造などとの関わりによってもたらされていることを理解しながら歌唱表現を創意工夫する。	・アヴェ・ヴェルム・コルプス K.618 ・まど・みちお作詞 木下牧子作曲「おんがく」	○		○		【知識及び技能】 【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、様々な表現形態による歌唱表現の特徴、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技】他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や他者にとっての音楽の意味や価値を考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴き、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 混声合唱の豊かな響きを味わいながら他者との調和を意識して歌うことや、曲想が歌詞の内容や作曲者の思い、音楽の構造などとの関わりによってもたらされていることを理解しながら歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	２学期の音楽学習のまとめ ２学期の音楽学習のまとめとして器楽アンサンブルと合唱の発表、独唱のテストを行い、学習内容の定着度を確認する。また、これまでの音楽学習を振り返って自己の課題を確認し、３学期以降の取り組みを考える。 冬休みの課題レポートの事前学習として、資料の調べ方や紹介文、解説文の書き方を知り、音楽を文章や言葉で伝える工夫をする。	・２学期に学習した教材	○	○			【知識及び技能】 【知】音楽２の２学期の学習を通して、表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項について理解している。 【技】音楽２の２学期の学習を通して、技能に関する諸事項を身に付け、歌唱や器奏で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ２学期に音楽１で学んだ教材の音楽を材にくっている楽譜を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ２学期の音楽学習のまとめとしての器楽アンサンブルや合唱の発表、独唱のテストに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2
3学期	物語と音楽との関わりに注目しよう ―総合芸術における音楽の魅力― オペラやミュージカルなどの総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響し合って発展してきたかを考える。	・魔笛 ・夜の女王のアリア			○		【知識及び技能】 【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価しての根拠、音楽表現の高価性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴き、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 オペラやミュージカルなどの総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響し合って発展してきたかに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○		1
	世界のさまざまな音楽の魅力 ―世界の声の音楽― 世界の諸民族の様々な声の音楽から音楽表現の多様性を捉えるとともに、諸民族の声の音楽と日本民謡の比較を通して音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考える。	・アジアのさまざまな音楽（声） ・ケチャ ・バンソリ ・アリラン ・茉莉花（まつりか） ・布農族の合唱 ・世界の声の音楽 ・ホーミー ・カッワーリー ・ブルガリアの合唱 ・イヌイットの喉遊び歌 ・ケチャのリズムを楽しもう！ ・日本の民謡と芸能 ・ソーラン節 ・会津磐梯山			○		【知識及び技能】 【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類と特徴について理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価しての根拠、音楽表現の高価性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴き、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の諸民族の様々な声の音楽から音楽表現の多様性を捉えること、諸民族の声の音楽と日本民謡の比較を通して音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考えることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○		1
	コンサートを開こう ―音楽Ⅰのまとめとして― １年間の音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施する。音楽Ⅰで学習した教材から選択し、クラス全体で合唱や器楽アンサンブルをしたりしながら、音楽活動の喜びや楽しさを味わう。また、オリエンテーション時に学習した「あなたにとって音楽とは」が、音楽１の１年間の学習を経てどのように変容したかを考える。	・音楽Ⅰで取り扱った歌唱教材 ・音楽Ⅰで取り扱った器楽教材 ・それぞれがつくった創作作品 ・あなたにとって音楽とは（自作教材）	○	○	○		【知識及び技能】 【知】音楽１の１年間の学習を通して、表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項について理解している。 【技】音楽１の１年間の学習を通して、技能に関する諸事項を身に付け、歌唱や器奏、創作で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽１で学んだ教材の音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱や器奏、創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 １年間の音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施することや、音楽１の１年間の学習を経て自分自身の音楽に対する考えがどのように変容したかを考えることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8 合計 52